

平成28年度

決算

元気な渥美半島を

目指して

平成28年度一般会計の歳入総額は、前年度に比べ7.0%減の306億6005万円、歳出総額は、前年度に比べ3.7%減の293億8762万円となりました。実質収支額※は、10億5553万円の黒字でしたが、前年度に比べ12億3167万円減(53.9%減)の厳しい決算状況となりました。

■歳入 市税・普通交付税減少

市税は、8億5949万円減(4.8%減)の170億4284万円となりました。主な要因は法人市民税で、前年度に比べ10億1521万円減(18.5%減)となりました。地方交付税は、合併算定替※の縮減などの要因により、8億907万円減(23.6%減)の26億1981万円となりました。

今後とも歳入減少が見込まれることから、財政調整基金※の取り崩しを行わず、基金残高の確保を図りました。また、ふるさと応援寄附金の増加な

どにより、寄付金が1億6734万円(2175.1%増)となりました。

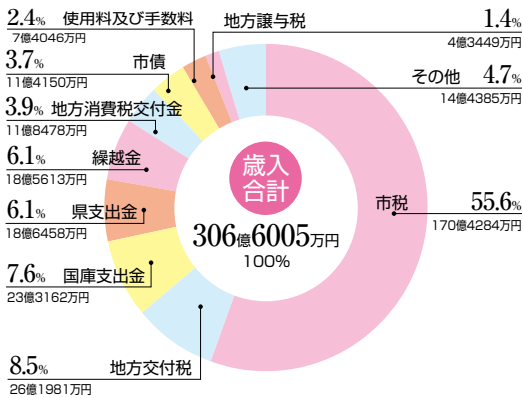
■歳出 重点施策を着実に実施

厳しい財政状況の中、長期的展望に立った行政サービスの再構築を図りながら、防災や産業振興など優先度の高い事業を厳選し、地方創生の推進に向けた4つの重点施策を実施しました。特に平成28年度は、シテイセールス

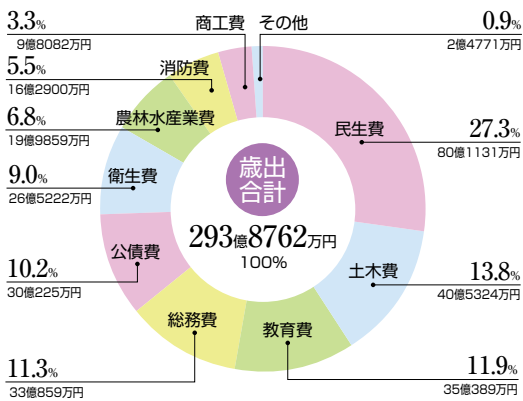
の推進や、地域医療体制の確保に向けた地域医療推進基金積立などを行いました。

なお、一般会計と特別会計を合わせた歳入総額(水道事業を除く)は、480億6501万円(5.3%減)、歳出総額は459億906万円(4.0%減)となりました。

■歳入



■歳出



一般会計の歳入歳出決算

実施した重点施策の主な事業

【雇用の創出・就労促進】企業立地奨励金／J A新施設建設支援／道の駅改修【定住・移住促進】定住・移住促進奨励金／シテイセールス推進／浦片・赤羽根地区土地区画整理【結婚・出産・子育て】認定こども園運営支援／小中学校施設整備／児童クラブ・放課後子ども教室運営【地域の魅力・住み良さの向上】地域医療推進基金積立／三河田原駅前工場跡地活用／津波避難マウンド整備



●JAライスセンター



●ナゴヤドームでのシテイセールス

※【実質収支額】歳入歳出差引額から翌年度への繰越事業に充てる財源を控除した額。一年間の「損益」。

※【合併算定替】合併後15年間の普通交付税額が、3町が存続した場合の額を下回らないように保障する制度。11年目から段階的に引き下げられる。

※【財政調整基金】急激な税収の落ち込みや災害などに備えるための「貯金」。